

【3-3 スコープ 記入方法】

1. 診療ガイドラインがカバーする内容に関する事項	
(1)タイトル	診療ガイドラインのタイトルを記載する。改訂版の場合は、改訂版であることがタイトルからわかることが望ましい。
(2)目的	診療ガイドラインが全体として取り組む患者アウトカムの改善を目的として記載する。
(3)トピック	診療ガイドラインが取り上げるテーマを記述する。疾患全体を取り上げる場合は「疾患名」、疾患全体ではなく、例えば、治療のみを取り上げる場合は、「小児急性中耳炎の治療」のような組み合わせで、取り上げるトピックを明記する。
(4)想定される利用者、利用施設	診療ガイドラインの活用が想定される施設、医療者などを明記する。
(5)既存ガイドラインとの関係	改訂版の場合は、どの診療ガイドラインの改訂版であることを明示する。また、改訂版ではないが、関連する診療ガイドラインがある場合は、関係を明示する。
(6)重要臨床課題	<p>診療ガイドラインが取り上げる課題を重要臨床課題 (Key Clinical Issues) として記述する。重要臨床課題を記述するに当たって、予備的な文献検索を実施して、課題の概略を把握する。</p> <p>重要臨床課題 1: 重要臨床課題 2: 重要臨床課題 3:</p>
(7)ガイドラインがカバーする範囲	診療ガイドラインが取り上げるトピックについて、より詳細な定義を行う。診療ガイドラインがカバーする範囲とカバーしない範囲を整理して記述する。

(8) クリニカルエッセイ(CQ)リスト	<p>「重要臨床課題」で取り上げられた課題を基に、患者にとって重要なアウトカムを改善するために必要な問題を CQ として設定する。スコープでは、設定された CQ を一覧表としてリストする。</p> <p>CQ1: CQ2: CQ3:</p>
2. システマティックレビューに関する事項	
(1) 実施スケジュール	システマティックレビューの実施スケジュールを記述する。
(2) エビデンスの検索	<p>エビデンスタイプとして、①個別研究論文（ランダム化比較試験（RCT）、非ランダム化比較試験（Non-RCT）、観察研究など）、②システマティックレビュー（SR）論文、③既存の診療ガイドラインの中で、どれを検索対象とするかを記載し、検索の優先順位を明確にする。また、個別研究論文については、RCT、Non-RCT、観察研究などの研究タイプの中で、検索対象に含める研究タイプを記載する。検索式を決定する際の基本方針を記載する。検索の対象とするデータベースをエビデンスタイプ毎に記載する。検索対象期間は、データベース毎に、検索範囲となる期間を年月日で記載する。</p>
(3) 文献の選択基準、除外基準	既存の診療ガイドライン（CPG）、SR 論文、RCT、Non-RCT、観察研究をどのように選出し統合するか、優先順位と採用条件の基本方針を記載する。
(4) エビデンスの評価と統合の方法	選出された論文からなるエビデンスの評価方法を記載する。また、エビデンス総体の示す強さの表現方法を記載する。エビデンス総体の質的統合と量的統合に対する基本的な考え方を記載する。
3. 推奨作成から最終化、公開までにに関する事項	
(1) 推奨作成の基本方針	コンセンサス形成の具体的方法、推奨作成の際に考慮する因子、推奨を文章で表現する際に準拠するルール、推奨の強さを表現する基準を予め決めて記述する。

(2)最終化	完成した診療ガイドラインの草案を最終決定するための手続きを記載する。
(3)外部評価の具体的方法	外部評価として実施する方法を記載する。例えば、外部評価委員による評価、パブリックコメントの実施、一部の医療施設での試行など。
(4)公開の予定	公開の予定期日、公開の方法などを記載する。